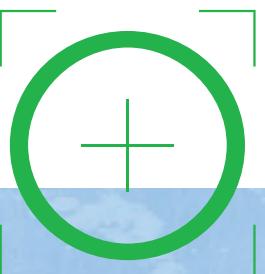


SCOPE



SCOPE

VOL. 52

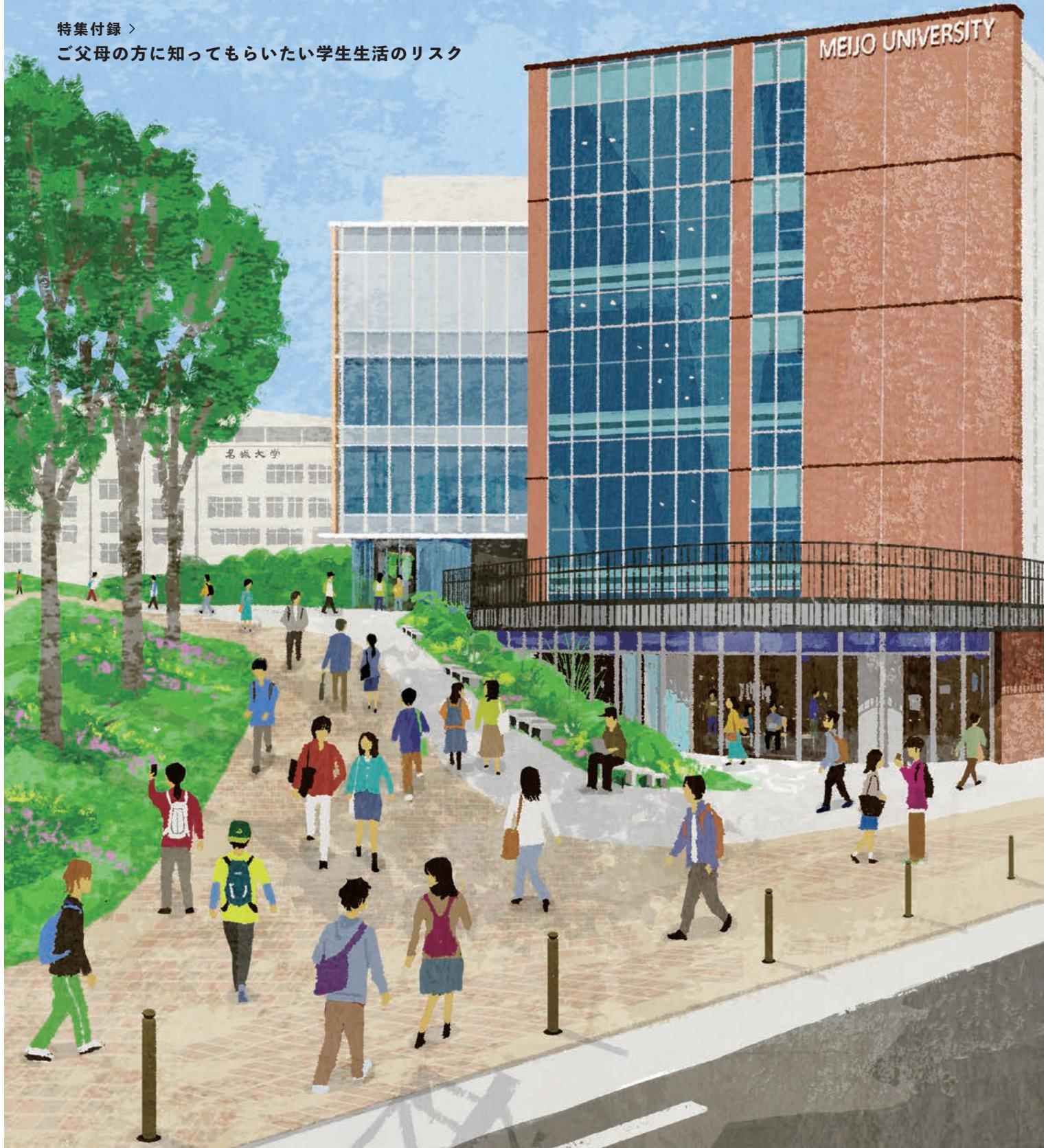
特集 >

Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

特集付録 >

ご父母の方に知ってもらいたい学生生活のリスク



特集 Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

名城大学理学部出身の先輩方に聞く
「文系」「理系」にとらわれない
新しい世代の働き方



SCOPE VOL.52

名城大学理学部後援会 会報誌 2025 「SCOPE VOL.52」

02
特集

Next Generation

次の時代を支える若き社会人たち

07
特集付録 > ご父母の方に知りたい学生生活のリスク

09 — 理工学部 2025

10 学科と教養教育の学び

15 — 理工ロマンの旅 vol.12
古からつづく 住環境快適化の道

17 — 理工学部から羽ばたく 卒業生インタビュー

18 — 理工学部後援会の活動
学部と連絡を密にして学生本位の活動を実施

19 — 理工学部後援会の活動 1
フレッシュマンセミナー

21 — 理工学部後援会の活動 2
ご父母のための進路セミナー

24 — 学生奨励表彰者 輝く理工学部生

25 — 理工学部後援会の活動 3
地区懇談会

28 — MEIJO NEWS 2024

29 — 理工学部後援会の活動 4
家庭教育支援セミナー／心理学講座

31 — 理工学部後援会の活動 5
学生奨励表彰

33 — その他の活動報告

34 — 事務局・相談窓口の紹介／令和7年度 名城大学カレンダー

<https://www.meijo-rikokoen.jp/>

名城大学理学部後援会

検索



インフラを支える現場で
責任とやりがいを実感

私は現在、東邦ガス株式会社のガス製造工場に勤めています。ガスを製造し続けることで、都市ガスの安定供給という社会的に重要な役割を担っています。入社後の2年半は製造課という部署において、昼夜二交替勤務で製造設備の運転やパトロール、異常時の対応などの業務を担当しました。ガス製造の最前線で設備を動かしながら、ガスに関する知識や現場での役割を身につけました。

その後、同じ部署内で勤務形態が日中の勤務に変わりました。ここでは主に、設備の点検や修理のための準備作業を担当しています。たとえばLNG（液化天然ガス）ポンプの点検作業では、点検前に配管内の液体を抜いたり、残留しているメタンガスを安全に除去する作業があります。これらの工程を確実に行わなければ、点検担当者が安全に作業できません。また、LNGや軽油、付臭剤などの受け入れに対応、工場に必要な物品の購買、さらには工場運営に関する集計・報告など、業務の幅も広がっています。最初は先輩の背中を見て学ぶことばかりでしたが、がいも以前に増して感じています。

現在は、私が中心となって他部署と連携をとりながら仕事を進める場面が増えました。「自分が担っている」という自覚と、それに伴う責任とやり

【付臭剤（ふしううざい）】
天然ガスは無臭なため、ガス漏れの際に早期発見できるよう臭いを付ける薬剤。

大学での学びと実践を

活かせられる現場

名城大学では、理工学部の社会基盤デザイン工学科で測量や構造物設計、施工管理など、社会インフラの整備や維持に関する知識を学びました。所属していたゼミでは鋼材の引張・圧縮試験といった実験も経験し、実験機器の操作やデータの整理・考察の方法まで、手を動かしながら学べたのが印象的でした。いまの業務と専門分野は少し異なりますが、工場内でも配管や構造物の知識は必要ですし、数字を扱う力やデータを比較して理解する力は業務に活けています。

また、ゼミでの研究では先生や先輩の助けを借りながら、というプロセスを経験しました。大学で協働の大切さを学べたことは、「チームで成果を出す」という社会人としての基礎となる考え方を自然に身につけることにつながりました。

両親の支えを受けつつ
自分の意思で進められた就職活動

就職活動にあたって一番の軸としたのは、「人の役に立つ仕事」で、特に暮らしに直結する仕事に就きたいと思っていました。学科が土木系ということもあり、最初は鉄道や道路などのインフラ関連企業を中心に企業研究をしたりインターネットシップに参加していましたが、大学に届いた求人票で東邦ガスを見つけました。

東邦ガスのことをいろいろ調べてみると、「24時間365日、ガスの安定供給」というフレーズが目に留まり、強く惹かれました。当時はガスの製造や供給のしくみについて知識はほとんどありませんでした。が、LNGの輸入から気化の工程、そして各家庭や工場に送るという一連の業務を行っていることを知り、人々の暮らしに直結していることに興味を持ちました。

さらに、東邦ガスは自分が育った愛知県をはじめ、東海三県に根ざした企業です。身近な暮らしや地元のモノづくり産業を、エネルギー供給を通して貢献できると

いう点も強く惹かれたポイントでした。

エネルギー供給を通して
人々の暮らしに
貢献することが魅力

Next Generation

東邦ガス株式会社
奥田 恭平さん

現場で実感した
理系的思考と
文系的表現力の重要性

工場の業務は、理系的な力が求められる場面が多くあります。たとえば改善案の改善のためには、データに基づいた裏付けが必須です。運用の効率化、安全性の向上などを図るには、計算力や論理的な思考力が求められます。大学での学びを通して、こうした理系的なプロセスを身につけられたのは、自分の強みだと感じています。

一方で、社会人になって感じたのは「伝える力の大切さ」です。たとえば改善案を上司や他部署に説明するとき、資料やプレゼンの構成がわかりづらいと、せつかくのアイデアも伝わりません。ガス事業法などの法令を理解し、運用に反映させるには読解力も必要ですし、社内外の関係者と信頼関係を築くには、わかりやすく、正確に伝える力が求められます。

大学でも発表の機会はありましたが、入社直後は、「上司など立場の異なる人にどう伝えるか」「どうしたら正しく伝わるか」といった視点が足りていませんでした。理系的思考と文系的表現力の両輪をバランスよく鍛えることが、これから時代の「実践力」になると実感しています。



東邦ガス株式会社
知多緑浜工場 製造課

奥田 恭平さん

2021年3月 名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 卒業

学生時代からサウナや温泉が好きで、休みの日にはリラックスして英気を養うのが定番の過ごし方。持ち前のコミュニケーション能力で、平日の仕事終わりに年齢の離れた先輩社員と麻雀を楽しむことも。



勤めています。ガスを製造し続けることで、都市ガスの安定供給という社会的に重要な役割を担っています。入社後の2年半は製造課という部署において、昼夜二交替勤務で製造設備の運転やパトロール、異常時の対応などの業務を担当しました。ガス製造の最前線で設備を動かしながら、ガスに関する知識や現場での役割を身につけました。

その後、同じ部署内で勤務形態が日中の勤務に変わりました。ここでは主に、設備の点検や修理のための準備作業を担当しています。たとえばLNG（液化天然ガス）ポンプの点検作業では、点検前に配管内の液体を抜いたり、残留しているメタンガスを安全に除去する作業があります。これらの工程を確実に行わなければ、点検担当者が安全に作業できません。また、LNGや軽油、付臭剤などの受け入れに対応、工場に必要な物品の購買、さらには工場運営に関する集計・報告など、業務の幅も広がっています。最初は先輩の背中を見て学ぶことばかりでしたが、

がいも以前に増して感じています。

現在は、私が中心となって他部署と連携をとりながら仕事を進める場面が増えました。「自分が担っている」という自覚と、それに伴う責任とやり

がいも以前に増して感じています。

現在は、私が中心となって他部署と連携をとりながら仕事を進める場面が増えました。「自分が

担っている」という自覚と、それに伴う責任とやり

</



アウトランダー PHEV

これまでに印象的だったのは、東南アジア市場向けの車両開発で、車内の匂い対策がテーマになつたことです。現地では屋台で買った食事を車内で食べる文化があり、匂いが残りやすいという背景があります。こうした文化や生活習慣の違いを理解することが、ユーザーに寄り添つた研究開発につながつていくと感じました。

注力してきたテーマのひとつが、健康起因の交通事故を防ぐためのドライバー モニタリング技術です。たとえば不整脈などの症状が運転中に表れた際、体にどんな変化が起きるのかを医学的な知見と照らし合わせながら研究を進めています。大学病院やサプライヤー企業とも連携し、モニタリング技術を使って事故そのものを未然に防ぐことを目指しています。

また、快適性技術の開発では「快適とはなにか」「ワクワクする体験とはなにか」といった感覚的な価値を定義することから始まります。技術の先進性だけではなく、ユーザーが「心地よい」と感じられる体験をどう設計するか。HMI設計は、まさにその橋渡し役です。

三菱自動車では希望していたHMIに関する研究・開発部署に配属され、現在は「先行技術開発部」で車内の安全性と快適性を追求する業務に取り組んでいます。

三井自動車では希望していたHMIに関する研究・開発部署に配属され、現在は「先行技術開発部」で車内の安全性と快適性を追求する業務に取り組んでいます。

「心地よさ」と「安心」を技術でつなぐ

人の感覚に寄り添つて

実践的な実習が印象的でした。

私はもともと車が好きで、大学では交通科学科を選択しました。自動車をはじめとするモビリティや機械系の技術などを幅広い視点から学ぶことができ、力学・数学・プログラミング・大企業の生産方式など、いろんな分野に触ることができました。中でも印象に残っているのはギアボックスの設計・製作実習です。設計図を引いて部品を加工し、自らの手で形にしていく実践的な実習が印象的でした。

もちろん機械工作の経験は、実際の仕事現場に立たなければ必要ないかもしれません、モノづくりのリアルな感覚を持っていることは設計や開発を行う上で大きな強みになると感じています。

自動車と向き合い続け 自ら考え、動く力を育んだ

自動車と向き合い続け

自ら考え、動く力を育んだ

Next Generation

三菱自動車工業株式会社
土屋 恒さん



試乗した最終型のランサー エボリューションX

人の心を動かす一台を
自分の手でつくりたい

三菱自動車工業株式会社
先行技術開発部

土屋 恒さん

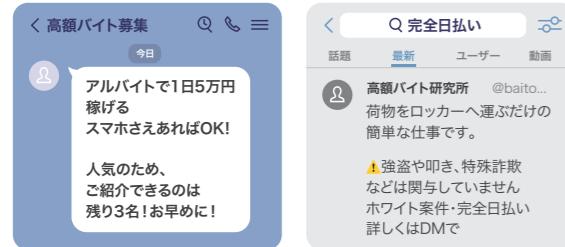
2014年3月
名城大学理工学部 交通科学科(現 交通機械工学科)卒業
2016年3月
名城大学理工学研究科 交通機械工学専攻 修了

子どものころからの自動車好きが高じて大学も就職も自動車関連に進み、自動車の楽しさを多くの人に知ってほしいと願い仕事に励む。休日は愛車のランサー エボリューションを思う存分走らせるためサー キットへ通う。

闇バイトにだまされないで!

「高額報酬」「ホワイト案件」などの言葉を巧みに操り、犯罪に加担させるいわゆる「闇バイト」や「詐欺バイト」の勧誘が増加しています。その多くはSNSを通じて仕事の詳細を明かさないまま求人を募集していますが、その実態は「受け子」「出し子」「運び屋」などの類いのものがほとんど。SNSで知り合った相手だけでなく、先輩や知人から誘われたケースも存在しています。内容のはっきりしない求人には応募しない、好待遇に惑わされない、個人情報を安易に送信しないなど毅然とした態度で対応することが大切です。

●闇バイトのよくある文例



ひとことADVICE 学業やアルバイト状況などを把握するため、日頃から親子のコミュニケーションを大切に

SNS・ネットトラブル多発中!

出会い系サイトやワンクリック詐欺などによる悪質な詐欺からSNS上の友人同士のトラブルまでインターネット環境を利用したトラブルは後を絶ちません。特に、SNSは近年では就職活動でも必要不可欠なツールとなっている一方、トラブルの温床となっている面も見逃せません。



許可なく友人との写真をSNSにアップした
講義のレジュメをSNSで公開した
飲食店での迷惑行為をSNSに投稿した

バイト先の塾の生徒の連絡先を無断で他人にメールした

以上はネットトラブルの一例です。これらはプライバシー侵害や著作権・肖像権の侵害に当たる可能性があります。SNSやメールの使い方を十分に見直し、トラブルの当事者にならないよう注意が必要です。

ひとことADVICE SNSの使い方について一度家族で話し合ってみましょう

宗教勧誘にご用心!

カルト的な性質を持つ団体による学生の勧誘は昔から存在します。最初は「宗教」という言葉を一切出さず、アンケート調査やボランティア活動、サークル活動等を装っているのが特徴です。その後、親しくなったら、自己啓発セミナー等に誘い、入信を迫ってきます。最近ではSNSを使った勧誘も存在しています。このような勧誘に遭遇したら、毅然とした態度で断る、親や先生、友達に相談することが大切です。



ひとことADVICE

高揚感のある言動などふだんの生活態度に変化がないか注視しましょう

身体だけでなく心も健康に。

現代の大学生はネットやSNSの情報の渦に巻き込まれ、また、先行き不透明な経済状況に翻弄されて想像以上にストレスがかかっています。心の不調は身体のケガなどと異なり、自分自身で気づくことが難しく、周囲の気づきが復調へのサポートになります。



- イララする
- 授業を欠席がちになる
- 食欲がなくなる
- 金遣いが荒くなる
- 集中力の低下
- 攻撃的な言動

→このような不調状態に気づいた時は声をかける、休息をするようアドバイスするなど早期の対応が有効的です

ひとことADVICE 状況により、専門家に相談することも視野に入れましょう

特集付録 ご父母の方に知ってもらいたい **学生生活のリスク**

社会が大きく変化しつつある今、学生を取り巻く環境も保護者世代からは想像もできないほど変化しています。この特集では学生生活を送る上で気をつけたい主なリスクを紹介するとともにご父母の方に今の学生が置かれている環境へ理解を深めていただきたいと思います。



おいしい投資話はない!

主にFXや暗号資産(仮想通貨)取引などの金融取引商品への投資話で、「必ず儲かる」「元本保証だから損をしない」と安心・安全を装い、留学費用や生活費の足しになると吹聴して、投資を勧説てくる人がいます。近年ではSNS経由での勧説も増えています。儲かりそうな投資話と聞いてもすぐに飛び付かず、一度冷静に考え、慎重に判断する、怪しいと思ったら周りの大手や友人に相談することが肝要です。



ひとことADVICE

絶対儲かる、損をしない話は存在しません

消費者トラブルに注意!

2022年4月に施行された、20歳から18歳への成年年齢の引き下げに伴い、成年での契約は契約取り消しが可能な未成年者取消権の行使ができなくなりました。これにより、「訪問販売契約」「キャッチセールス」「振り込め詐欺」「マルチ商法」などに巻き込まれる危険性も高まっています。契約内容をよく確認する、ネット取引の場合は信頼できるサイトを利用する、不審なメール・電話には応じない、などの対策が必要です。



ひとことADVICE 契約や取引には慎重に行動するようアドバイス



数学科

国内屈指の学習環境を揃え、
プレゼンテーション能力向上にも注力。

学科長 前野 俊昭

数学科では、代数学・幾何学・解析学・数理情報・計算機科学の5分野をカバーする第一線で活躍する研究者が教育を担い、様々な企業や公務員、教員といった就職はもちろん、名城大学や国立大学の大学院に進学し、修士号・博士号を目指す学生もしっかりとフォローしています。また、教壇に立つことや研究発表も視野に入れ、自分の考えを第三者へと伝えるプレゼンテーション能力の向上に注力していることも特長です。日本の私立大学の数学科として屈指の規模を誇りますが、今年度からは学生数がさらに増員され、この分野の需要の高さを物語っています。



研究室紹介 佐藤 光樹 研究室

理論を通して、道具としての数学ではなく、学問としての数学を追究。

本研究室では図形や空間、物体の形を扱う幾何学分野の理論を題材に、解を得るための道具として学んだ高校までの数学から脱却し、純粋な学問として追究していくことを目指しています。研究テーマである「結び目理論」は「題材の身近さ」と「厳密な論理性」の2つを兼ね備えており、高校の学習では体験できないような数学の面白さを味わえます。数学の持つ論理性は幅広い分野の土台となることから、将来の進路も多岐にわたります。教職に就く学生も多く、研究室では仲間と一緒に理論と向き合い、積極的に意見を交換発表できる機会を設けています。



電気電子工学科

電気・電子工学の土台を実際の経験を通して
身についていく学びを提供。

学科長 熊谷 慎也

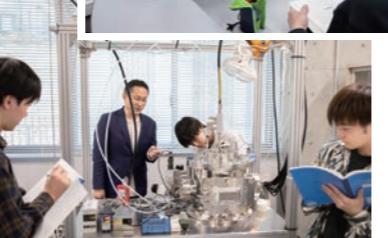
本学科には、電気・電子工学分野において著名な研究者が教員として在籍し、本年度からは通信情報系の教員が増え、より充実した教育体制で臨んでいます。工具や機器を使う内容を盛り込むことで、電気・電子工学の基本を学生自らが体感しながら楽しく学べるように工夫していることも特長です。電気・電子分野、機械分野や情報分野での就職をはじめ、太陽光発電などのエネルギー研究、電子デバイス・電池に関する研究、ロボットやAIに関する情報系の研究、ライフサイエンスの分野等で、世界第一線の研究に携わることができる優秀な人材の輩出を目指しています。



研究室紹介 楠田 創 研究室

電気・電子の技術で、人にやさしい医療機器を研究開発。

本研究室が軸とするのは、「低侵襲治療」に向けた新たな医療機器の研究開発です。低侵襲治療とは、手術の際に生じる体の損傷を極力抑えて実施する治療技術で、学生は、低侵襲な止血機器の研究に携わり、この新技術の実用化研究を医療機関との連携によって進めています。この研究は世界的にも先駆けとなるもので、3Dプリンターで低侵襲治療に用いる電離ガスデバイス機器を試作した学生もいます。研究室では、この他にも半導体などの機能性材料のプロセス技術の研究などを行っています。



理工学部2025

10学科と教養教育の学びについて



学部長メッセージ

社会の要請に応え、未来を担う確かな土台と、
人間力を備えた人材を育成。

名城大学理工学部 学部長 児玉 哲司



教養教育

幅広い分野の学習を通じて、
思考の土台をつくる。

教養教育長 榎本 晓

本学理工学部では、教養教育科目として英語と第二外国語からなる語学、人文社会科学、物理学、化学、地学、体育等を中心に学んでいきます。新しい分野を学ぶこともあれば、これまで学習してきた科目を違った視点・アプローチから学ぶこともあります。これらの科目の学習で得た知識や経験が、深くものごとを分析したり、多面的にものごとを見つめる基礎を作ります。在学中は、何ごとも積極的に取り組み、大学生ならではの多様な学びと知的体験を通じて思考の土台を形成し、豊かな学生生活を送ってほしいと願っています。



機械工学科

主体性を要する実践的な学びによって
自らの可能性の扉を開く。

本学科の1・2年次では、まず、知的体力を身につけるために、機械工学の基礎を徹底して学びます。そのうえで、3年次の1年間をかけて、ミニマシンの企画から設計開発、製作、評価までを生徒自身で行うカリキュラムを実施しています。工作機械や3Dプリンターといった機器類が豊富に用意され、優秀作品に関しては、学内はもちろん、米国等海外の学校で発表することもあります。自動車・鉄道・飛行機・工作機械・ロボット・医療・環境・エネルギーなど、幅広い分野で活躍できるので、主体性を持ってぶつかってくる姿勢で学んでほしいと思います。

学科長 清水 憲一



研究室紹介 大島 成通 研究室

人間工学×AIシミュレーションでスポーツを革新。

本研究室では、人間工学・スポーツ工学を軸に、筋骨格モデルと最適化シミュレーションを駆使し、動作効率を科学的に解析しています。学生は、モーションキャプチャ解析から最適化プログラム実装、プロトタイプ製作までを段階的に体験し、模倣学習・強化学習を活用したフォーム改善アルゴリズムの構築、投球・テニス動作を単眼カメラで評価するプラットフォームの開発をはじめ、AIを使ったスノーボード板やラケットなどの用具形状の最適設計等、現場への実装を目指します。



交通機械工学科

社会に求められる安全と環境に配慮したものづくり。
その担い手となるエンジニアを育成。

本学科が目標とするのは、社会に求められる乗り物の安全や環境を考慮した「ものづくり」を、グローバルな視野で実現できるエンジニア育成です。自動運転の研究や超小型人工衛星の打上げなど、第一線で活躍する教員が揃い、自動車・航空宇宙機・鉄道車両などの乗り物の設計・製作・制御を通して、機械工学を総合的に学ぶことができます。また、機械工学の基礎学力と応用技術の習得とともに、実験実習を積極的に行う「実感教育」によって工学的のセンスを磨くことにも注力し、希少性の高い鉄道車両分野の学びが充実していることも特長です。

学科長 西村 尚哉



研究室紹介 鈴木 昌弘 研究室

鉄道の未来を切り拓く優秀な技術者・研究者を輩出。

「鉄道車両空力研究室」として、鉄道車両に関わる流体力学上の様々な問題を実験や数値シミュレーションによる手法を用いて研究しています。鉄道には双方向運転、近距離でのすれ違い、トンネル走行といった独特的な特長があり、安全性の確保や高速化には、鉄道独自の流体力学的な問題を解決しなくてはなりません。竜巻や横風といった強風が列車に与える影響と、安定した走行を可能とする列車形状の最適化に関する研究は、世界的にも先駆けとなるものです。大学院進学者も多く、卒業生の多くが鉄道関連の分野に進み、活躍しています。



材料機能工学科

次世代を拓く新素材に光を当て、
持続的発展可能な社会に寄与する人材を育成。

学科長 宇佐美 初彦

18世紀に始まった最初の産業革命は、炭素鋼の実用化に端を発し、AIの驚異的な進化は高度な情報処理を実現する材料技術の確立が礎となっています。本学科では、様々な材料の機能性や構造に関して、基礎から応用に至る領域を学びます。その結果、大学院への進学率は地方国立大学に引けを取りません。これは、学生の“学びたい”という欲求に応える体制が整っていることに他なりません。VR(仮想現実)の実現化等、様々な製品やシステムに変革をもたらし、環境問題の課題解決に寄与できる能力と共に、自発的に研究に取り組む姿勢を育んで欲しいと願っています。



研究室紹介 関口 寛人 研究室

脳に埋め込んだLEDで神経系の症例改善を目指す、希少な研究。

本研究室ではLEDを使い脳の神経活動をコントロールする研究を行っており、脳内に埋め込んだ極微小なLEDの光をピンポイントで対象箇所に当てることで、認知症や鬱病などの症例改善に役立てることを目的としています。世界でもごく数か所のみでしか行われていない研究であり、国内の大学での研究は唯一。前段階となる脳波を計測するデバイス開発をはじめ、実際にマウスの脳にLEDを埋め込むオペからデータ解析に至るまで、学生自身が行っています。早期実現に向けての研究に邁進すると同時に、医療の発展に貢献できる研究者の輩出を目指しています。



応用化学科

持続可能な社会の実現に貢献できる
物質・材料開発の土台を身につける。

学科長 中村 忠司

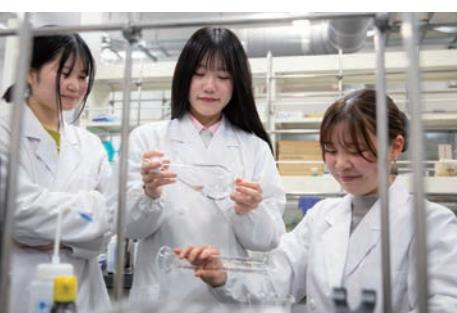
応用化学は、化学に基盤を置いた物質・材料開発の新たなテクノロジーを追究していく分野です。本学科では各分野で実績を積んだ一流の教員が、学生の学ぼうとする姿勢を後押ししています。有機化学・無機化学・物理化学の基礎を豊富な実験・実習科目を交えながら指導し、教員が実際に実験しているビデオを予習教材として用いるなど、より把握しやすい内容の構築にも取り組んでいます。専門的知識、問題解決力、コミュニケーション能力の習得に向けた教育と研究を通して、多岐にわたる分野で化学を活用できる人材の養成を目指しています。



研究室紹介 田中 正剛 研究室

身近な暮らしに役立てることができる、分子構造の研究。

本研究室では「生活化学研究室」として、分子組織学に焦点を当て、特定の化学物質を検出すると寄り集まって組織体を作る分子の研究を行っています。将来的に、研究成果を生活レベルで役立てることを視野に、検出ターゲットとしてビタミンに注目し、新しい機能を持った分子の開発を目指しています。工学系の化学研究に必要な素養のひとつである化学構造を考え、分子を操ることができることを身につけてもらうことに注力しています。学生が純粋に学問に打ち込み、新しい化学現象や化学素材の創出にチャレンジできる研究室の環境作りを大切にしています。



環境創造工学科

幅広い学問領域の体験を経て、専門性ある学びを得る。

本学科は、環境をキーワードに極めて幅広い研究分野を網羅しています。本年度からは学生がこの特色を理解できるよう、1年次：研究室訪問（環境創造工学概論・II）、2年次：研究室での研究体験（環境創造工学演習I・II）、3年次：コースに分かれての研究室での演習（環境創造工学演習III）の後に研究室を選択（ゼミナール）という体系理解のための必修科目を設置しました。さらに、現象分析や課題解決のためのツールを使いこなす能力育成を目標として、データサイエンス関連科目を強化。この新しいカリキュラムにより、よりレベルの高い領域で活躍できる技術者・研究者の育成を目指しています。

学科長 小塩 達也



研究室紹介 道正 泰弘 研究室

カーボンニュートラル、循環型経済に寄与する建設資源・廃棄物の研究。

本研究室は建設資源のリサイクルや建築物・構造物の長寿命化による廃棄物問題の解決、環境負荷低減に貢献することをテーマとしています。建設材料の中でCO₂排出量最多のセメントを減らし、カーボンニュートラル達成に貢献する研究と建設・工業副産物の削減や資源の循環に関する研究を二本柱とし、コスト面を含めた実現可能な研究であることも特長です。演習では、研究発表を想定したディスカッションの時間を設け、自発的に考え発表する技法の習得に努めるほか、国内の第一線で活躍する建築構造設計者を招へいしてのフィールドワークも実施しています。



建築学科

建築とまちづくりを通して社会に貢献し、活躍できる人材を育成。

本学科では、建築とまちづくりを通して、人々の豊かな暮らしへと貢献できる人材の育成を目標としています。居住性・安全性・審美性・環境調和性を重視した空間創造のための基本能力の獲得、建築工学の基本的知識の習得、語学力・教養・芸術的な感性を身につけるためのカリキュラムが組まれ、国際的なワークショップも取り入れています。学科卒業生には一級建築士受験資格が与えられますが、建築士としてはもちろん、社会インフラの老朽化・高齢化や多発する自然災害や気候の変化といった諸問題解決にも尽力し、活躍できる建築技術者を目指して欲しいです。

学科長 武藤 厚



研究室紹介 萩原 拓也 研究室

人々がより豊かに安心して暮らせるまちづくりを実践できる人材に。

本研究室では建物、道路空間、河川空間などを包括する都市計画の手法を学んでいます。複数の年代の地図からエリアの整備状況を読み取り、道路の幅員や樹木の状況、景観などを分析するフィールドワークを重ねたうえで、デザインコンペへの挑戦や実際のまちづくりに参画する機会を設けています。さらに、大規模地震の被災地を訪れ、復興後の暮らしを理解することで、地元が被災した際の対応策につなげる学びも取り入れています。将来は、人々がより豊かに安心して暮らせるまちづくりに寄与できる、良識ある専門家として活躍することを願っています。



メカトロニクス工学科

機械・電気・情報処理を俯瞰的視点で捉えた学びが、多岐にわたる分野で活躍する土台に。

学科長 関山 浩介

本学科では、機械、電気、情報処理を融合した製品開発を担うメカトロニクス技術者の育成に向けて、要素技術から機能設計までの理解を深めるためのカリキュラムを段階的に学んでいきます。機械の分解・組立、新しい機械づくりへのチャレンジなど、自らが手を動かす能動的な学びを積極的に取り入れていることも特長です。卒業生の4割近くは大学院に進学し、さらに先進的な技術者を目指して学びを深めており、自動車関連企業、知能ロボット開発や工作機械などの機械系製造業、医療機器関係等、各自の興味を活かした様々な分野で活躍の場が開かれています。



研究室紹介 畑 良幸 研究室

メカトロニクスの要素が凝縮された、センサの研究開発に携わる。

本研究室では、自動運転車やロボットをより高度に制御するための超小型デバイス「高精度MEMS慣性センサ」、ロボットの掴む動作をより高度化する「触覚センサ」、多数のセンサが通信量や精度を制御しながら情報を取得する「センサネットワーク」の研究を3本の柱として活動しています。これらの研究開発は実現まで5年以上という長い期間を要しますが、受け身にならずに常に自分なりのテーマを作り、課題解決に取り組んで欲しいと思います。他機関における半導体プロセス装置を利用したセンサ作製や他大学との連携による技術開発を経験できることも特長です。



社会基盤デザイン工学科

人々の安心で豊かな生活基盤を支える、シビルエンジニアを育成。

学科長 渡辺 孝一

本学科では、都市計画や防災計画といったソフトデザインから、橋や道路などのライフルラインにおける設計・施工維持管理といったハードデザインまでを段階的に修得していきます。大きく分けて計画・立案に携わるプランナー、実際的なモノづくりに携わるクリエイターの2つの方向性がありますが、国土交通省や愛知県庁、名古屋市役所などの地元の技術系公務員をはじめ、鉄道・エネルギー・ゼネコン・設計コンサルタントなどいずれもまちづくりのスペシャリスト＝シビルエンジニアとして、人々の安全で豊かな暮らしの根幹を支える分野で活躍しています。



研究室紹介 葛 漢彬 研究室

橋梁・高架橋の耐震強化・長寿化へと挑むトップレベルの研究。

橋梁・高架橋といった大型構造物を中心に、百年というスパンでの耐久性を可能とする耐震設計法の高度化の研究、地震エネルギーを吸収し構造物の変形や損傷を抑える制震ダンパーと呼ばれる装置の開発、老朽化した橋梁や高架橋の補修、落橋防止、補強方法の研究に取り組んでいます。学内の実験施設は、全国でもトップレベルです。高速道路関連、鉄鋼関連企業との共同開発事例もあり、土木学会全国大会などの受賞歴も多数。大手ゼネコンやコンサルで活躍する卒業生をはじめ、大学院に進む学生も多く、博士号取得者も輩出しています。





古から続く住環境快適化の道

自然の中で起こる物理現象をひもとき理解を深め、
私たちは快適な暮らしを手に入れた。
それは、材料と構造の工夫から生まれた
古から伝わるテクノロジーだ。



打ち水

もっともシンプルで現代でも親しまれている
「打ち水」とは？

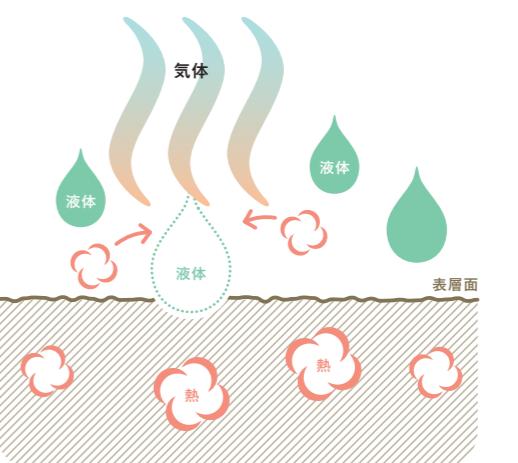
打ち水は、暑い日に涼を得るために「気化熱」の原理を用いた風習である。打ち水の風習は、少なくとも江戸時代には広く行われていたことがわかっている。ただし、その起源はもっと古く、平安時代以前にさかのぼるともいわれている。

平安時代の貴族の邸宅などでは、庭や路地に水を撒いて涼を取ったり、ホコリを抑えたりする習慣がすでに見られたとされている。

また、仏教寺院でも「聖なる場所を清める」ために水を撒く習慣があったため、宗教儀礼的な意味合いも含んでいた可能性がある。

「打ち水」で涼しくなるしくみ

液体が気体に変わると
液体自体は温度を上げずに周囲から熱を奪う。
熱を奪われた気体は温度が下がる。



気化熱

$$\text{気化熱} = Q = m \times L$$

気化熱とは、液体が気体に変わるときに必要な熱エネルギーのことである。このとき、液体自体は温度を上げずに、周囲から熱を奪う。

たとえば水が蒸発するとき、水分子の一部が速く運動しており、高いエネルギーを持っている状態にある。それらが液体の表面から飛び出して水蒸気(=気体)になる。飛び出した分子は運動エネルギー(=熱エネルギー)を持ち去ることによって、残された液体はエネルギーを失って冷えることになる。

熱力学的に見ると状態変化に必要な熱は「潜熱(せんねつ／ Latent Heat)」と言い、気化熱はその中でも、蒸発や沸騰のときの潜熱を指す。単位は通常「J/g(ジュール每グラム)」または「kJ/mol」などで表される。たとえば、水の気化熱は約2,260 J/g(100°Cでの沸騰時)である。

Q 吸收(または放出)される熱量 [J]

m 物質の質量 [g]

L 気化熱(単位質量あたり) [J/g]

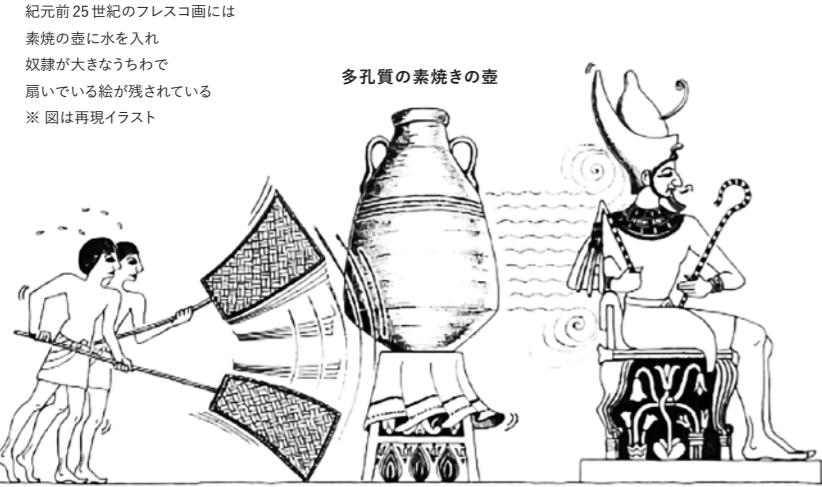
たとえば水 100g を蒸発させるとの気化熱は…
 $M=100\text{ g}$
 $L=2260\text{ J/g}$ (水の気化熱)
 $Q=M\times L=100\times 2,260=226,000\text{ J}$
…となり、「22.6万ジュール」の熱が必要ということになる。

古代から知っていたけれど…
気化熱の科学的な解明は近世になってから



Joseph Black

「気化熱」は古代から現象として理解されていたが、その概念が科学的に認識されたのは、18世紀中頃(日本では江戸時代中期)である。特に重要な発見者の一人として知られるのが、スコットランドの化学者・物理学者であるジョゼフ・ブラック(1728-1799)で、1760年代に「潜熱」の概念を提唱した。水が氷から液体になるときや液体が蒸発するとき、「温度は変わらないのに熱が入り出す」とことを発見した。この「潜熱」の一種として、蒸発時に吸収される熱が「気化熱」として認識されるようになった。



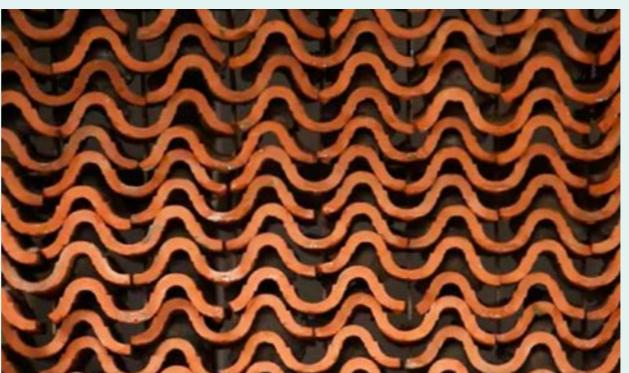
Zeer pot

紀元前25世紀のフレスコ画には
素焼の壺に水を入れ
奴隸が大きなうちわで
扇いでいる絵が残されている
※図は再現イラスト

多孔質の素焼の壺の外壁から少しずつ水がにじみ出て蒸発。このとき、蒸発による気化熱の吸収によって、壺の中の水温が周囲の気温よりも下がるというしくみである。

気温が高く乾燥している(=蒸発しやすい)エジプトのような気候では、特に効果的であったと考えられる。

このシステムは「エジプト式冷却器(Zeer pot)」と呼ばれる。電気を使わない冷蔵庫として注目され、古代エジプトからイスラム文明、近代まで受け継がれ、中東や北アフリカなどでは今でも使われている地域がある。



古の技術を現代に活かす「クールアント」

インドの建築家、モニッシュ・クマール・シリプラップ氏によって美しくデザインされた「クールアント」は、古から続く技術を取り入れた冷却システムである。粘土からできた素焼きの筒がハニカム状に敷き詰められており、この筒を濡らすと気化熱によって周りの空気が冷やされるというしくみだ。開発チームはコンピュータによる高度なシミュレーションによって、筒をハニカム構造に配列することで表面積が増え、水が蒸発する際の冷却効果が高まるこを検証。このクールアントを使えば、夏の気温が45°Cにもなるインドでも、室内を30°C程度まで抑えられるという。また、筒の表面には次第に苔が育ち空気を浄化する効果も期待できる。電気や石油由来のマテリアルを一切使用せず、しかも排出物ゼロというエコな冷却システムである。

この内容はYouTubeで紹介されています



プリティッシュ・カウンシル編集
Ant Studio 公式チャンネル



Message

いかと思います。当然ながら、友達作りもして、学部や学科への帰属意識が高まるのではあります。しかし、新入生のフレッシュマンセミナーで実施することができました。コロナ禍が原因なのか集団への帰属意識が薄い若者が多いと聞いておりますが、このような活動を通じて、学生本位の活動を密にしておりますので、会員各位のご協力をお願いいたします。

令和7年度会長に思いがけなく選出され、会長に就任いたしました丹羽でございます。後援会員ご父母の代表としまして、微力ながら、会の発展に尽力していくたらと考えております。会員の皆様もご存じかと思いますが、2026年は名城大学開学100周年、理工学部も100周年を迎えます。それらを踏まえ、大学および学部に貢献出来たらと考えておりますので、会員各位のご協力をお願いいたします。

理工学部 後援会の活動

学生本位の活動を実施します



名城大学理工学部
後援会会长
丹羽 泰仁



後援会の基本姿勢

1

学生への支援第一主義

あくまでも学生への支援を第一に考えております。そして次にご父母への還元、さらに理工学部の教育・研究への援助を基本としています。

2

ご父母と大学・学部とのパイプ役

大学や学部とは連絡を密にして、協調し、ご父母と大学・学部との間のパイプ役となります。また、さまざまな行事を通じて在学中のご子弟に対する不安を解消することを図っています。

3

ご父母の目線での活動

常に会員であるご父母の目線で、またご父母の要望に耳を傾け、活動に反映していくことを目指しています。

4

理工学部に関する諸団体との連携強化

理工同窓会・技術士会等、諸団体と連携を密にして、後援会活動の多角化を図ることを目指しています。

後援会の組織図

令和7年度理工学部後援会専門担当委員会 会長 丹羽 泰仁／会長代理 神谷 浩基

企画担当委員会

- 役割 後援会を運営するための予算編成と事業計画を推進する
- 予算編成 ●会則 ●定期総会
- 地区懇談会 ●フレッシュマンセミナー
- ご父母のための進路セミナー

委員長 山田 尚之 副委員長 松浦 太造
委員 戸上 聰 川島 信行 北河 涉
早川 信宏 小久保 竜彦 伊藤 一寛 平本 韶嗣
吉本 充 樋口 慎一 加藤 良樹 中島 韶
齋田 直寿 前田 純志 青山 麻里

編集担当委員会

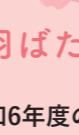
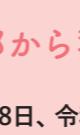
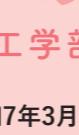
- 役割 後援会自主活動の報告並びに学部の状況を会員に周知させる
- 理工学部紹介DVDの制作について
- 後援会会報誌「Scope」の発行について
- 後援会ホームページの制作について
- 個人情報保護について

委員長 山口 忠徳 副委員長 小川 智哉
委員 清水 勝吾 川口 敏史 古谷 博信
落合 伸介 長谷川 正樹 千田 清隆 松長 克治
今泉 博章 木村 義昭 高濱 明克 竹中 充
大宮 正浩 加藤 貴司 木村 起鐘 川口 義則
委員長 関 克彦 副委員長 祖父江 崇
委員 北洞 義明 山下 勝紀 荒居 昭治
幅田 正明 川上 憲史 森下 和一 飯田 将行
吉田 憲彦 松原 功治 杉田 康司 和田 真一
山田 嗣人 磯谷 俊作 横本 康範 石木 義範

福利厚生担当委員会

- 役割 後援会として学生に援助し得る福利厚生事業を推進する
- 学生育英救済制度実施
- 災害見舞金制度実施
- 家庭教育支援制度実施
- 学生奨励制度実施
- 家庭課外活動援助
- 個人情報保護について

委員長 山口 智哉 副委員長 小川 智哉
委員 清水 勝吾 川口 敏史 古谷 博信
落合 伸介 長谷川 正樹 千田 清隆 松長 克治
今泉 博章 木村 義昭 高濱 明克 竹中 充
大宮 正浩 加藤 貴司 木村 起鐘 川口 義則
委員長 関 克彦 副委員長 祖父江 崇
委員 北洞 義明 山下 勝紀 荒居 昭治
幅田 正明 川上 憲史 森下 和一 飯田 将行
吉田 憲彦 松原 功治 杉田 康司 和田 真一
山田 嗣人 磯谷 俊作 横本 康範 石木 義範



卒業生インタビュー

令和7年3月18日、令和6年度の卒業式がドルフィンズアリーナで挙行されました。

挑戦と失敗から学び、
未来への一步を踏み出す。

進学

名城大学大学院 理工学研究科
伊藤 天音さん
(材料機能工学科 卒業)

Congratulations!

在学中は材料機能工学の学びはもちろん、短期留学や教職課程、日本在住の外国人支援など、学業以外の挑戦も多く経験しました。挑戦を通じて、成功だけでなく失敗からも学ぶ力を養えたことは自分の糧になっています。先生方の温かい支援や後押しがあったことも心強かったです。今春から大学院で研究を進めていますが、手話を学び、聴覚障がい者支援を通じて地域貢献もしたいと思っています。将来は一般企業での開発職や管理職などの経験を積み、ステップアップとして教職の道も視野に入れ、成長を続けていきたいです。



環境に考慮し
持続可能な橋づくりを目指して。

就職

株式会社オリエンタルコンサルタント
安立 雄飛さん
(社会基盤デザイン工学科 卒業)

Congratulations!

在学中は学業とアルバイトを両立させるため、時間管理を徹底して行いました。結果、タイムマネジメント能力を身につけることができ、納得のいく成果を出すことができました。研究テーマで取り組んだのは工事のための仮橋。再利用や組み立てやすさについて研究しました。実際の現場と同じ実験装置が整っている大学の環境は研究を進める上で大きな利点でした。就職先は橋梁・道路のインフラ開発や環境保全など自分の研究テーマとも近い企業です。社内外の調整を担うコンサルタントとしてリーダーシップを発揮できるスキルを磨いていきたいです。



フレッシュマンセミナー

良き友と出会い、
思考と議論を深め合う



対象者
理工学部新入生
全10学科

1日目

大学生としてのマナー、
情報リテラシーを学ぶ

大学生の自律と成長を促すため、マナーの基本原則や他者への思いやりの大切さなどを学びました。また、SNSなどによるトラブルに巻き込まれないよう事例を交えながらインターネット・リテラシーの理解を深めました。さらに、18歳から成人年齢になることから生じるメリットやリスクなどについても触れました。

宿泊先へ向け、
バスで移動

宿泊先までの移動中も新しい仲間と交流するチャンス。旅行気分も加わり、少しづつ緊張が解けていきます。

宿泊施設に到着

社会基盤デザイン工学科は、三河湾リゾートリンクスでセミナーを行いました。

- セミナーの開催目的**
- 一つのテーマについて各グループで議論し、自分の考えを伝えるとともに、相手の意見を受け入れる協調性を養います。
 - 共同作業を通じて意欲をもって主体的に勉学をするきっかけをつくります。
 - 信頼できる友人関係を形成することできだす。
 - 大学生活への不安を払拭させます。



新入生のアドバイス役として同行した、先輩グループの感想

私たちの時は、新型コロナの影響でセミナーの開催はありませんでした。このセミナーが大学入学直後にあるのは新入生にとって有意義だと思いました。



新入生たちの感想

宿泊施設に着いてからディスカッションを終え、さらに友だちとの交流が深まりました。ディスカッションの内容は少し難しいけど、楽しく参加しています。



ご父母のための 進路セミナー



就職・大学院進学の
現状を理解する絶好の機会

理工学部生の就職事情や進学についての解説、
学生との接点が多い大学職員によるディスカッションなど
充実したセミナーで、毎年参加されるご父母もいらっしゃいます。
主な内容をご紹介しましょう。



日時 令和7年6月28日(土) 13時～16時45分

会場 名城大学天白キャンパス
共通講義棟北1階名城ホール(N101)

目的 就職活動の現状を知る
大学院で学ぶ意義を考える



ライブ配信も実施します。

※学科別懇談は配信しません
セミナー開催当日に後援会ホームページより
動画を配信します。本誌に同封されている
「案内パンフレット」に記載のパスワードを
入力してご覧ください。

参加お申込み方法

本誌に同封されている「案内パンフレット」をご覧いただいたうえで
ホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ

▶ <https://www.meijo-rikokoen.jp/>



TOPページ→活動内容→ご父母のための
進路セミナーへアクセス



ページ下段の申し込みフォームより
お申込みください。



進路セミナースケジュール

1

全体懇談

理工学部後援会長、理工学部長、理工同窓会長のご挨拶に続いて、理工学部における最近の就職状況や大学院進学についてお話しします。



2

パネルディスカッション

キャリアセンターの担当者が就職活動の動向や大学としてのサポート体制の数々をご紹介します。昨年度はその後、3名の理工学部卒業生と株式会社リクルート松田氏をお招きし、就職活動や大学院進学などについてお話をいただきました。



3

学科別懇談

学科別の会場に移動した後、学科長ご挨拶に続いて、学科の教育方針や就職状況、大学院進学についての説明を行います。ご父母からの疑問・質問にお答えする時間もご用意しています。



大学施設を見学できる学科別ツアーも開催予定!

輝く理工学子部 生

**数学の奥深さ・面白さを
伝えられる教員になりたい。**



卒業後は整数論の理論や定理を
もっと追究したいので、大学院進学

4年生になつてから代数学を専門
とする植松研究室に所属し、代数学
の中でも「整数論」を取り組んでい
ます。問題を解くだけでなく、証明
や理論の背景を理解する力がついた
のが、大学での大きな収穫です。

また、「伝える力」も意識して取り
組んきました。高校時代からプレゼンテーションの発表の機会に恵ま
れていたこともあり、それなりの経
験はありましたが、大学ではゼミで
の発表などで自分の考え方や情報を的
確に伝えることをより意識して、「教
える」立場に立った伝え方を心がけ
ています。

卒業後は数学教員を目指したいと思つ
て、大学生活を通して、両親の理解と
応援が心強く、数学科の先生方のサ
ポートも大変ありがたいです。この
感謝の気持ちを忘れないでいたいと
思います。



算数が得意だった兄の影響もあり、
小さいころから、算数や計算が好き
でした。中学・高校と進み、数学の
先生方の人となりや教え方が魅力的
でますます数学に惹かれていきました。
特に、高校時代に在籍したス
ペーサイエンスクラス（SSH）では、
理論的な思考力が求められる数学の
定理や証明に触れ、自然と数学科の
ある名城大学を志望するようになり
ました。

高校時代の恩師から教わった「自
分で責任を持ち、自分の力で解決す
る姿勢」は、大学生活でも意識して
取り組みました。講義には可能な限
り出席し、今のところ、ほぼ皆勤賞。
わからない点はまず自分で調べ、図
書館に通つて参考図書を読み込む。
調べても本当にわからないときに先
生に質問するという習慣を続けてき
ました。

Student's Episode

学業以外では気象予報士試験に挑戦した
ことがあります。残念ながら一度試験に
落ちてしましましたが、テレビで天気を
分析して伝える気象予報士の方の姿を見て、
魅力を感じています。
大学院の試験や卒論が落ち着いたらもう
一度チャレンジしてみたいですね。

学生奨励表彰についてはP.31をご覧ください。



後援会が主催する
学生奨励賞を受賞した
学生にインタビュー！

就職活動の現状を知る

インターネットもE-S（エントリー
シート）もなかつた親世代に対して、現
在では、活発化するインターネットシップや
通年採用の動き、さらにはコロナ禍で定
着したオンライン面接など、就職活動は
様変わりしています。親として、未知な
のも無理はありません。そこで当セミナーでは、就
職活動全般の流れと大学の就職サポート体制、企業
が求める人物像や学生たちの率直な思いなど、リア
ルでためになる情報をお伝えしていきます。

大学院で学ぶ意義を考える

一般には、大学卒業後は就職して社会に出るもの
と思われがちです。しかし、大学院へ進学するとい
う道もあります。特に理工系においては、企業側が
大学院卒を重用する傾向にあることから、就職を見
据えた上で大学院に進学する学生が多く存在します。
名城大学は大学院理工学研究科を備え、多彩な分野
で最先端の研究を展開しています。名城大学大学院
では学業成績および人物優秀な学生に対して選学制
度を設けており、セミナー当日は、大学院進学につ
いての説明も行います。

理工学生として 大学で培いたい力

それぞれ自動車メーカー・デバイスマーケット・建
築会社で働く卒業生3名が登壇し、就職活動や仕事
の現場で役立った大学時代の経験を語り合いました。
一方で「もっと資格を取っておけば良かった」「異な
る分野の経験をしておけば良かった」といった振り
返りも共有されました。司会を務めたリクルート
松田氏からは保護者に向けてのメッセージとして、
子どもの意見を尊重し、肯定的に見守ることが大切
だと発信されました。ぜひ、大学のキャリアアセ
ンターとも連携し、進路に向けての情報収集をサ
ポートしましょう。



パネルディスカッションテーマ



親世代との環境の違いを 知りたくて、参加しました。

現在の就職環境を把握するきっかけにしたい
と思い参加しました。セミナーを通して、将来への
一步を踏み出すことができそうです。



電気電子工学科1年のご父母

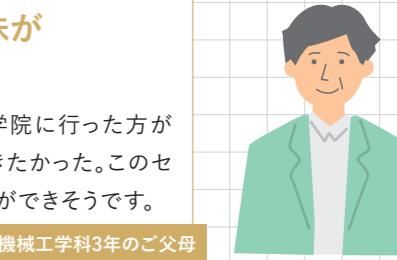
大学院進学について 詳しく知ることができました。

4年間のカリキュラムが理解できて安心しまし
た。研究室を見学することもでき、大学院進学
の必要性を探ることができました。

建築学科1年のご父母

学科別ツアーに興味が あって参加しました。

希望の職種につくには、大学院に行った方が
いいのか迷っているので聞いたかった。このセ
ミナーをきっかけに詳しい話ができそうです。



交通機械工学科3年のご父母

機械工学科3年のご父母

会場のご案内

アクセス良好な各会場にて、ご子弟の成績や進路希望などについて先生方とお話しできます。

名古屋会場

10月19日(日)10:00-16:00／数学科／電気電子工学科／材料機能工学科／応用化学科／機械工学科
10月26日(日)10:00-16:00／交通機械工学科／メカトロニクス工学科／社会基盤デザイン工学科／環境創造工学科／建築学科



名古屋ガーデンパレス

名古屋市中区錦3丁目11-13
Tel.052-957-1022
「栄駅」1番出口より徒歩約5分
「伏見駅」1番出口より徒歩約8分

津会場 10月5日(日)10:00-13:00 全学科

ホテルグリーンパーク津

津市羽所町700
Tel.059-213-2111



大垣会場 10月11日(土)10:00-13:00 全学科

クインテッサホテル大垣

大垣市宮町1-13
Tel.0584-84-3730



浜松会場 10月12日(日)10:00-13:00 全学科

ホテルクラウンパレス浜松

浜松市中区板屋町110-17
Tel.053-452-5111



参加お申込み方法

8月初旬に郵送されるパンフレット「地区懇談会のお知らせ」をご覧いただいたうえでホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ ▶ <https://www.meijo-rikokoen.jp/>

※時間ならびに懇談教員の指定はできませんので、ご了承ください。



8月初旬に
「地区懇談会のお知らせ」
パンフレットを
お届けします



内容をご確認のうえ、
ホームページより
お申し込みください



対象者
理工学部
全学年の
ご父母

学生の
参加は
不可



対面懇談 先生方と会場で直接会ってじっくりお話しすることができます。

10月19日(日)

数学科／電気電子工学科／材料機能工学科
応用化学科／機械工学科

名古屋会場

10月26日(日)

交通機械工学科／メカトロニクス工学科／
社会基盤デザイン工学科／環境創造工学科／建築学科

津会場

10月5日(日)

全学科

大垣会場

10月11日(土)

全学科

浜松会場

10月12日(日)

全学科

地区懇談会は、学部の先生方の協力のもとに実施しています。
ご父母の皆さまと先生方が直接、交流を深める貴重な機会となります。
なお、懇談会は対面懇談で行います。

貴重な機会
先生方とじっくり話せる



Meijo News

2024.4
I
2025.3

2024年度の名城大学の
NEWSを主に理工学部を
中心に振り返ります。

2024.04.04

令和6年度入学式 学部3552人(編入学を含む)、大学院359人、合わせて3911人の新入生が入学

2024.05.20

飯島終身教授が愛知総合工科高校専攻科と協定を結ぶタビの工科大学生に特別講義

2024.05.27

建築学科の谷田研究室が
日本のどこにもない自動車図書館の制作を担当し
栄・ヒロバスにて初披露

2024.09.05

理工学部化学・物質学科の設置の構想を発表

2024.10.20

硬式野球部2024年度愛知
大学野球秋季リーグ戦で
15度目の優勝

2024.11.12

名城大学大学祭2024が天白、
八事、ナゴヤドーム前の3キャン
パスで開催

2024.11.28

建築学科生らが愛知建築士会
建築・まちづくり学生活動コン
ペで優秀賞を受賞

2024.12.30

女子駅伝部、2024全日本
大学女子選抜駅伝に出
場し、8位入賞

2024.04.14

メカトロニクス工学科生・
研究科学生らが国際イノ
ベーションコンテスト
(iCAN'24)国内予選で各
賞受賞



2024.05.21

理工学部機械工学科の中西淳教授がIEEE International Conference on Robotics and Automation Most Influential Paper Awardを受賞

2024.08.03

本学卒業生山本有真選手がパリオリンピック陸上女子
5000mに出場

2024.09.18

理工学研究科の松元大河
さんが代表代行を務める
よさこいチームが「どまつ
り」で準大賞



2024.10.27

女子駅伝部、第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
に出場し、4位入賞

2024.11.05

吉野彰終身教授がスタート
アップ支援拠点「STATION
Ai」オープン記念で特別
講演



2024.12.23

学生ハッカソンイベント「HACK U 名城大学2024」最終
発表会を開催

2025.03.18

令和6年度卒業式
3437人が晴れの門出を迎
える



地区懇談会 スケジュール

1 ホームページ掲載の動画を事前に視聴

9月中旬ごろ公開予定

「理工学部後援会長・学部長ご挨拶」

「教務および就職関係説明」の動画を
事前にご視聴ください。

※視聴には、パスワードが必要です。

※パスワードは8月初旬に郵送されるパンフレット「地区懇談会の
お知らせ」に明記します。



2 懇談会に参加

① 「参加票」に記載の集合時刻に
各会場へお越しください。

② 個別懇談／20分程度

ご子弟の所属学科の先生と懇談します。



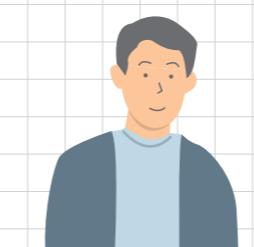
地区懇談会に参加いただいたご父母の声

Voice

先生からのアドバイスが聞けて
安心しました。

勉強がどんどん難しくなっていくと子どもが言っていたのでどんな学習をしていくのか気になって来ました。先生から直接話を聞いて少し安心しました。

材料機能工学科1年のご父母



娘と就職活動について
話し合う参考になりました。

普段、家庭ではなかなか就職活動に関する話題に触れる
機会が少ないので、今回の懇談会をきっかけに、娘と就職
活動についてじっくり話し合える良い機会となりました。

数学科3年のご父母



進学か就職か、より具体的な
判断を得るために参加しました。

進学と就職のどちらの選択肢がよいのかの判断
材料として参加しました。先生から詳細な情
報を直接聞いてよかったです。

機械工学科1年のご父母

家庭教育支援セミナー



心の理解を深める

家庭教育支援セミナー講演会

優秀な講師をお招きし、気軽な講演会、フリーディスカッションなどを通じて家庭教育の重要性を認識していただきます。ご父母の皆さまが身近な相談役としてご子弟の悩みなどに対応する能力を身につけていただくことを目的としています。

毎年多くのご父母の方が参加されるセミナーは2回とも受講できますので、よりいっそう内容が深まり、参考にしていただけます。



講演テーマ 親と子の生涯発達



名古屋大学大学院
教育発達科学研究科 教授
学位・資格/博士(教育心理学)・臨床心理士、
公認心理士
専門/生涯発達心理学

【著書】
◎新・青年心理学ハンドブック 福村出版 2014年(共編著)
◎君の悩みに答えるよーー青年心理学者と考える10代・20代のための生きるヒント 福村出版 2017年(共編著)
◎心の専門家養成講座第7巻 学校心理臨床実践 ナカニシヤ出版 2018年(共編著) ほか多数

講師

平石 賢二 先生

日程 令和7年7月20日(日)

天白キャンパス 研究実験棟IV 101 教室

[講演] 13:00~14:20 [質疑応答・フリーディスカッション] 14:30~15:00 [受講料] 無料

講演テーマ 家族の人間関係



岐阜大学大学院 教育学研究科 教授
学位/博士(心理学)
専門/社会心理学

【主要論文】
◎吉澤寛之・吉田俊和・中島 誠・吉田琢哉・原田知佳 (2019).
地域住民の関与・雰囲気が集合的有能感を介して子どもの反社会性に及ぼす影響
—層化抽出法を用いたマルチレベル分析による検討—
応用心理学研究, 45(1), 35-46.
◎吉田琢哉・吉澤寛之・浅野良輔・玉井颯一・吉田俊和 (2020).
地域に根ざした学校運営におけるチームワーク尺度の作成
—保護者の視点からの検討—
教育心理学研究, 68(2), 147-158.

講師

吉澤 寛之 先生

日程 令和7年7月26日(土)

天白キャンパス 研究実験棟IV 101 教室

家庭に活かす心理学講座

当講座は心理学を中心とした内容をご父母の皆さんにご提供し、それをご家庭に活かしていただき、よりいっそうの教育力向上を目指す目的で開設されました。心理学については初学者にもわかりやすく、初步から解説します。

心理学等の学問的内容の理解をし、家庭教育に活用していただくことは重要ですが、さらにこの講座を受講したことにより、ご父母世代の「自分探し」、また子育てが終わってからの、これから続していく質の高い人生への手掛けりとしていただけます。

担当講師

吉住 隆弘 先生
中京大学 心理学部
心理学科 教授

鈴木 亮子 先生
堀山女学園大学 人間関係学部
心理学科 教授

吉田 琢哉 先生
岐阜聖徳学園大学
教育学部 准教授

川島 一晃 先生
堀山女学園大学 看護学部
看護学科 准教授

信太 寿理 先生
愛知学泉大学 家政学部
子どもの生活学科 准教授

後藤 綾文 先生
岐阜聖徳学園大学
教育学部 准教授

酒井 麻紀子 先生
愛知教育大学 教育科学系
心理講座 助教

日程 令和7年7月～令和8年2月 全16回 天白キャンパス研究実験棟IV101など

[受講時間] 各回13:00～16:15(休憩15分) [定員] 30名(一度当講座を受講されたご父母はお申込みできません)
[受講料] 無料(別途教材費がかかる場合があります)



参加お申込み方法

本誌に同封されている「案内パンフレット」をご覧いただいたうえで
ホームページよりお申込みください。

理工学部後援会ホームページ

► <https://www.meijo-rikokoen.jp/>



TOPページ→活動内容→
家庭教育支援セミナー・心理学講座へアクセス



ページ下段の申し込みフォームより
お申込みください。

ご父母の皆さんに、家庭教育の重要性について再確認していただくとともに、ご子弟の悩みごとに応する能力を身につけていただくことを目的として、講演会や、学内での心理学講座を実施しています。ぜひともご活用ください。

セミナー



多感な青年期の
心の理解を深める

令和6年度 理工学部後援会 学生奨励制度表彰

(学年は令和7年2月現在のもの)

学術関係

数学科	3年 千住 亮介	3年 野綱 優輝	交通機械工学科	3年 佐野 智章	3年 園田 晃志
	3年 三栖 夕奈	3年 向井 伶奈		3年 内記 彩花	3年 松田 優貴
電気電子工学科	3年 内山 謙伸	3年 尾崎 琢磨	メカトロニクス	3年 斎藤 鴻成	3年 斎藤 雅弘
	3年 高岡 円香	3年 山形 啓介	工学科	3年 西田 悠純	3年 松野 有希
材料機能工学科	3年 北川 賢汰	3年 小金井星翔	社会基盤デザイン	3年 加藤 凌英	3年 鈴木 彰仁
	3年 大藤慎之介	3年 前田将太郎	工学科	3年 中村 陸哉	3年 渡邊 敬文
応用化学科	3年 重國 綾乃	3年 白井 沙樹	環境創造工学科	3年 小林 暖弥	3年 清水 陽太
	3年 富田 棱人	3年 森田 真由		3年 藤谷 瑞水	3年 矢島 愛実
機械工学科	3年 清水 拓也	3年 玉置力輝斗	建築学科	3年 木全 美翔	3年 枝本 元気
	3年 番場 園巴	3年 吉田 稔矢		3年 八代 榎介	3年 柳澤 千尋

スポーツ関係

表彰者選出基準1	
●体育会ライフル射撃部	
河内 柚乃	応用化学科4年
武村 海	電気電子工学科4年
第104回中部学生スポーツ射撃選手権大会 優勝	
第47回中部女子学生スポーツ射撃選手権大会 優勝	
●体育会日本拳法部	
岩田 紘明	交通機械工学科3年
鈴木 優希	電気電子工学科3年
第23回日本拳法中部オーブン選手権大会 優勝	
●体育会ラクロス部	
神谷 知希	機械工学科4年
谷口 智紀	交通機械工学科4年
大崎 浩志郎	交通機械工学科4年
バスバスサルマン	交通機械工学科3年
水谷 智哉	交通機械工学科3年
森 北斗	電気電子工学科3年
山田 拓海	電気電子工学科2年
今枝 輝一	機械工学科2年
近藤 琢真	機械工学科2年
笠島 嘉人	機械工学科2年
舟橋 諒真	機械工学科2年
湯浅 諒太郎	機械工学科2年
伊藤 ちより	環境創造工学科2年
第32回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝	
●体育会バーベルトレーニング部	
石黒 隆之介	建築学科2年
第53回中部学生パワーリフティング選手権大会74kg級 優勝	
木下 瑛斗	応用化学科2年
第52回中部学生新人パワーリフティング選手権大会59kg級 優勝	
田中 鳩汰	機械工学科2年
第52回中部学生新人パワーリフティング選手権大会66kg級 優勝	
●体育会陸上競技部	
亀島 鳩太	数学科3年
第51回東海学生陸上競技秋季選手権大会10000m 優勝	
●体育会ヨット部	
川端 快良	電気電子工学科4年
U-21学生研究発表会 最優秀賞	
●その他	
佐々木 皇南	電気電子工学科4年
熊谷 斗和	電気電子工学科4年
下村 春弥	電気電子工学科4年
LINEヤフーHackU名城大学2024 Happy Hacking賞	

文化関係

該当なし

その他

●体育会ヨット部
東明 千菜実 建築学科3年
FISU(国際大学スポーツ連盟)デゼンツアーノ2024
世界大学セーリング選手権大会 日本代表として出場(12位)
清水 龍一 電気電子工学科4年
寺野 匠 電気電子工学科4年
澤 多聞 電気電子工学科4年
電気工学教材企画コンテスト 優秀賞



学生奨励制度は、学術・スポーツ・文化の各分野においてめざましい活躍をしたと認められる理工学部在籍の学生たちを後援会が表彰するものです。令和6年度は、個人48名・7団体が選ばれました。

名城大学理工学部後援会 学生奨励制度表彰規定

- 目的 この制度は、名城大学理工学部の学生で、人物・学業共に優れた者あるいはスポーツ並びに文化活動において、大学の名声をとくに広めた者に対し、その功績をたたえるとともに、本人をはじめ他の学生の今後の励みになることを念願して設立する。
- 適用範囲 名城大学理工学部に在籍する学生。
- 審査方法及び機関 理工学部長の推薦により、理工学部後援会福利厚生委員会において審議決定する。
- 審議時期 適時
- 奨励方法 表彰状並びに副賞(記念品)とする。
- ① 表彰者選出基準

区分	資格	基準	年間引当数
学術関係	個人	3・4学年に在籍する者のうち、人物・学業共に優秀な学生で各学科ごとに推薦された者。	1学科4名以内
スポーツ関係	個人又は団体	1名城大学体育運動部に所属し、東海大学選手権大会又はリーグ戦等に於いて優勝したチーム。又は個人。 2全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。 3前1・2号優勝者以外で個人賞として特別に表彰された者。 4体育会運動部主将として著しく部の発展に貢献した者。但し在学中一回限りとする。	若干名
文化関係	個人又は団体	1名城大学文化クラブに所属し、東海又は中部大会以上の競技会に於いて優勝した個人又は団体。 2前号以外で、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。	若干名

②上記区分以外で、会長若しくは学部長の推薦により、後援会福利厚生委員会が妥当と認めた者に対しても、上記区分に該当する者と同様に表彰することができる。

③前項①②共、後援会費納入会員の子弟とする。

7 表彰方法 表彰者氏名及び該当事項を公示し、後援会委員会の席上において表彰する。

8 施工期日 昭和57年4月1日付をもって施行する。

附則 平成5年10月21日一部改正 平成10年3月24日一部改正 平成11年6月4日一部改正
平成25年1月30日一部改正 以上

学生たちの健闘と成果を
ここより祝福



こんにちは、理工学部後援会事務局です

理工学部後援会事務局は常勤職員3名が常駐しています。事務局は11号館2階(11-221室)にあります。後援会に対して、ご意見などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。また、ご子弟の学生生活等について、不安などありましたらご相談に応じます。家計が急変された方も遠慮なくご相談ください。なお、ご相談内容については秘密厳守いたしますので、ご安心ください。

林友美
契約職員
後援会事務局には、学生さんや先生方ほか、様々な方が訪ねていらっしゃいます。皆さまのお役に立てるよう、仕事に励んでいます。

吉本直美
会計幹事（事務局次長）
後援会業務以外にも研究者として的一面も持っています。人間科学（博士）の学位を取得し、心理学の非常勤講師として理工学部の学生さんに講義もしています。また、自己研鑽に忙しいながらも趣味の時間も大切にし、エネルギー的に活動しています。

堀一貴
事務局長
人と話すこと、人と関わることが大好きな、明るい性格です。笑うことを第一に考え、落語や漫才などを聴いて、皆さんに笑ってもらえる話術を勉強しています。吹奏楽については、名城大学ではおそらく一番詳しいとの自負もあります。aikoファンであり、ライブの時に派手に踊っている姿は普段からは想像できません。また熱心な中日ドラゴンズのファンです。

事務局の連絡先

Tel & Fax 052-831-9214

E-mail jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

公式HP お問い合わせ専用入力フォームをご利用ください。

<https://www.meijo-rikokoen.jp/>



わからないこと、気になること、心配事は、こちらへご相談ください

ご父母の相談窓口

学生の健康相談
こころの相談

学生の進路
キャリアプランの相談

成績・履修などの相談

奨学金などの相談

理工学部
後援会事務局

Tel 052-831-9214 (直通)
「11号館」2階
月～金曜日 9:00～17:30

保健センター

Tel 052-838-2031 (直通)
「本部棟」1階
月～金曜日 8:50～21:00
(土曜日は17:20まで)

キャリアセンター
(進路・就職支援・インターンシップ)

Tel 052-838-2040 (直通)
「タワー75」4階
月～金曜日 8:50～17:20

学務センター
(理工学部)

Tel 052-838-2023 (直通)
「タワー75」3階
月～金曜日 8:50～17:20

学務センター
(生活支援G)

Tel 052-838-2028 (直通)
「タワー75」4階
月～金曜日 8:50～18:30
(授業・試験期間以外は17:20まで)

窓口によっては、時期により受付時間が変更になる場合があります。詳しくは名城大学HPをご確認ください。

令和7年度
名城大学カレンダー

2025
7月～3月
2026

最新情報は名城大学HPをご覧ください。
<https://www.meijo-u.ac.jp/>

2025	7月	21日 前期対面授業終了日 17日、18日、22日 遠隔授業期間／補講日 23日～31日 定期試験 19日、20日 オープンキャンパス (ドーム前キャンパス)
	8月	1日、2日 定期試験（予備日：4日） 2日、3日 オープンキャンパス (天白キャンパス) 8日～17日 窓口閉鎖期間 下旬 追・再試験
	9月	4日、5日 追加履修登録期間 15日 後期授業開始日 22日 開学記念日 下旬 9月卒業式

10月	30日 大学祭準備 31日 大学祭
11月	1日 大学祭 2日 大学祭後片付け
12月	27日 対面授業終了日 28日～1月4日 窓口閉鎖期間
2026	1月 5日、7日、8日 遠隔授業期間／補講日 16日 大学入学共通テスト準備(5限～) 17日、18日 大学入学共通テスト 9日～21日、23日、24日 定期試験（予備日：24日）
2月	上、中旬 追・再試験
3月	17日 卒業式

名城大学理工学部後援会

その他の活動紹介

理工学部後援会では、本誌面でご紹介してきた諸活動のほか、様々な支援・援助活動を行っています。



理工学部後援会定期総会の開催

令和7年4月26日(土)15時から令和7年度名城大学理工学部後援会定期総会を開催いたしました。一般の会員ご父母には、会場またはライブ配信にてご参加いただきました。議案はすべて可決され、令和7年度の会長には、丹羽泰仁氏(社会基盤デザイン工学科4年父母)が選出されました。



会報誌「Scope」の発行

後援会活動の紹介、各学科の教員および研究室の紹介、ご子弟の活動の様子、ご父母の皆さまの声などを掲載しています。

理工学部紹介動画・DVDを制作

大学の様子を撮影し、名城大学理工学部を紹介する動画を制作しています。この動画は毎年開催される地区懇談会などで上映したり、DVDをご父母に貸し出したりしています。



難関資格取得者に記念品を贈呈

学生が取得した資格の中で、難関資格を取得した学生に対し記念品を贈呈します。

学会発表の援助

学会や研究会で発表する学生へ旅費や参加費を援助しています。

学生用図書の援助

学生の勉強の参考となる図書の購入を援助しています。



SCOPE VOL.52

名城大学理工学部後援会 会報誌 2025 「SCOPE VOL.52」

令和7年5月23日発行

編 集 名城大学理工学部後援会 編集担当委員会

制作・印刷 株式会社プリアートコーポレーション

発 行 名城大学理工学部後援会事務局

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501

TEL : 052-832-1151 (内線2580) TEL・FAX(直通) : 052-831-9214

E-MAIL : jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

<https://www.meijo-rikokoen.jp/>

名城大学理工学部後援会

検索



表紙イラスト：田地川じゅん

専修大学経済学部卒。一般企業勤務を経て、イラストレーター野口佐武朗氏主宰のスタジオ・オブ・イラストレーターズを卒業後、フリーとして活動。文芸誌の装画、挿絵からポスター、カレンダー、広告まで幅広く活動中。国立市在住。SCOPE52号では理工学部生が通う研究実験棟シリーズとして研究実験棟IIIをモチーフに、学生たちが行き交う風景をイラスト化しました。